

2015年 第9回 横浜ミドルボートミーティング

帆走指示書

横浜ミドルボートミーティングはミドルサイズヨットの安全意識の向上、セーリング技術の向上並びに各クラブの親睦を深める事を目的とし行われる。

1. 規則

本レースはセーリング競技規則 2013～2016 に定義された規則、本帆走指示書を適用する。

2. 競技者への通告及び帆走指示書の変更

- 1) 競技者への通告及び帆走指示書の変更は、ホームページに掲示する。
- 2) やむを得ずホームページを確認できない艇に限り、掲示内容を海上チェックイン時に本部船コミッティに口頭で確認することができる。

3. 参加資格

- 1) 当該レース委員会が参加を認めた艇であること。
- 2) LOA26フィート以上かつ36フィート以下の艇であること。
- 3) 有効なる船舶検査証を有する艇であり、ヨット保険に加入している艇であること。

4. レース日程

最初のレースの予告信号時刻

平成27年3月1日(日)

10時25分	第1レース
	第2レース
	第3レース
17時00分	表彰式パーティー

レーススタートは15時を超えない

5. レース・エリア

レース・エリアは小柴沖を中心とする海域とする。

6. コース

コースはウィンド・リーワード(ソーセージ)コースとし、レグ数は4レグとする。
レグ数の変更を本部艇コミティーより口頭で行うことがある。

7. マーク

各マークはオレンジ色の三角すいまたは円柱とする。

8. スタート

- 1) スタート方式はRRS26に準ずる。クラス旗はグリー旗とする。
- 2) スタートラインは、本部船のピンク旗ポールとスタートマーク用ブイを結んだ線とし、スタートは本部船を右側にみてスタートしなければならない。

9. フィニッシュ

フィニッシュラインは本部船のピンク旗ポールとフィニッシュマーク用ブイを結んだ線とし、最終マークからのコースの方向でフィニッシュラインを横切るものとする。

10. タイムリミット

- 1) タイムリミットはスタートから2時間後、もしくはトップ艇フィニッシュ後1時間の遅い方とする。
- 2) 1艇でもタイムリミット内にフィニッシュした場合には、タイムリミット内にフィニッシュしなかった艇を【DNF】とする。
- 3) 1艇も定められたタイムリミット内にフィニッシュしなかった場合は全艇を【DNF】とする。

11. レースの中止

レースの中止は、RRS32を変更し長音3声とN旗の掲揚および本部(運営)艇旗の降下によって発せられる。またはレースの中止を参加各艇へ携帯電話等で連絡する。

12. 抗議・救済

- 1) 抗議・救済は、書面にしてレース委員会に最終レース終了後2時間以内に提出しなければならない。
- 2) 抗議書はレース委員会より入手できる。審問はレース委員会より指定された場所で行われる。
- 3) 規則70.5 に規定されたとおり、プロテスト委員会の判決を最終とする。

13. 成績・得点

- 1) ハンディキャップ・順位は、レース委員会が定めたレーティングによって、各艇の所要時間から算出した修正順位とする。
 - 2) 上記修正時間が同一の場合にはレーティングの小さい方を修正順位の上位とする。
 - 3) 各レースの得点
 - 1位・・・1
 - 2位・・・2
 - 3位・・・3
 - 4位以下・・・修正順位の数を得点とする。
- 以下の場合には参加艇プラス1点とする。
OCS・DNS・DNF・RAF
- 以下の場合には参加艇プラス2点とする。
DSQ・DNC

4)本シリーズ・レースの総合成績は成立したレースの合計得点とし得点の少ない方を上位とする。

14. シリーズ・レースの成立

本シリーズ・レースは3レースを予定し、1レースの完了を以て成立とする。

15. ライフジャケット

ライフジャケット、または同等の浮力を有する着衣をレース中は全員着用しなければならない。

16. チェックイン

レース参加艇は参加する最初のレース前に本部船のポートサイドを通過し、本部船レース・コミッティに艇名を告げチェックインを行う。

17. 責任の所在

- 1)レース参加艇が【スタートするか否か】また【レースを続行するか否か】は各艇の責任において決定しなければならない。
- 2)レースに参加することに伴う、海上および陸上における人命ならびに傷害、その他すべての傷害等に係わる一切に関し、レース参加者が責任を負わなければならない。
- 3)レース艇はレース中のみならず、その前後においても付近を航行する船舶に対し、海上衝突予防法に基づき対処せねばならない。
- 4)如何なる事故についても当該レース委員会並びにレース・コミッティーはその責任を負わない。

18. 帰着申告

各レースのフィニッシュを以て帰着申告とし、スタートしなかった艇またはリタイアした艇は、本部船レース・コミッティーに口頭等で帰着申告を行なわなければならない。

19. ごみ処理

艇はごみを水中に捨ててはならない。